

号外

感染症情報 百日咳について



令和7年2月から百日咳の発生が増加しています。乳幼児期に受けた予防接種の効果が下がってくる小学校高学年から中学生の罹患が多くなっています。全国的には0歳児の発生もみられています。

予防接種の済んでいない乳幼児の罹患は重症化しやすいので、対象年齢になったら早めに予防接種を受けましょう。また、咳等の呼吸器症状のある兄弟・成人は0歳児と接触しないように注意が必要です。

普通のかぜ症状で始まることから、初めは百日咳とは気付かれないことも多くあります。(咳こみが続き受診し、診断されたときには感染力が強いカタル期が終了していることも少なくありません。)

百日咳は高い感染力があります。家族内感染、集団感染を起こさないように注意が必要です。手洗いと咳エチケット（マスクの着用）を勧めましょう。

長野市の百日咳発生状況(令和6年10月1日～令和7年4月20日現在)

